



## いのちと共生の研究プログラム第3回研究成果発表会に参加しました！

2025年3月23日、麻布大学百周年記念ホールにて「いのちと共生の研究プログラム第3回研究成果発表会」が開催され、アカデミア麻布大学所属の3チームがスライド発表を行いました。「いのちと共生の研究プログラム第3回研究成果発表会」とは麻布大学が行っている、出る杭を引き出す教育プログラムの一環として、高校生と大学教員がともに研究へチャレンジするプログラムです。以下、発表メンバーと探究内容です。

## 【探究内容】

「横須賀高校の池から未知のウイルス発見!」 78期 飯田 優さん、亀山 やすみさん、嶋田 心遥さん  
「ネコの思考と反応～物体の永続性：あるものはなくなるはずがない～」 78期 渡邊 悠馬さん  
「アニサキス幼虫の試験管内生存維持」 78期 井上 涼帆さん、大戸 愛莉さん

## 「横須賀高校の池から未知のウイルス発見!」

## Q: 発表に向けて準備したこと

A: 会場みなさんに私たちの研究の内容をよく理解していただくために、発表原稿を考案する際、研究の動機やその考察に至るまでの経緯などが明確に伝わるように工夫をしました。

78期 5組 飯田 優

## Q: 他校の発表を聞いて

A: 研究成果発表会は自分の1年間の取り組みを発表するだけでなく、他者の確かに少し気になる、という少し斜め上の発想の発表が数多くあり、非常におもしろかった。

78期 5組 亀山 やすみ

## Q: 発表した感想

A: 私たちの発表は専門的な話も多く、上手く説明できるか緊張していましたが、色々な方から分かりやすかったと言われて頑張ってたかったと思いました。また、自分たちにはない視点の質問も多く、とても参考になりました。

78期 6組 嶋田 心遥



## 「ネコの思考と反応～物体の永続性：あるものはなくなるはずがない～」

## Q: 会場の様子

A: 見学できる回数が限られているため、隙間時間などに他の人の作品を見ようとしていた方も多くいて、それぞれの研究へのリスペクトなどが大いに感じられてとても活気に溢れていたと思います。

## Q: 後輩へ一言

A: 自分が1年を通じて思ったことは計画の見通しがしっかりできているかが重要だということです。特に自分は多くの人に協力してもらう必要があったため、その様な研究ほど綿密に計画を立てておくのがいいと思います。

78期 6組 渡邊 悠馬



## 「アニサキス幼虫の試験管内生存維持」

## Q: 発表に向けて準備したこと

A: ポスターセッションでの反省を生かして、グラフを大きくしたり、実験動画や写真を多く用いて、インパクトを大切にしました。

78期 6組 井上 涼帆

## Q: 後輩へ一言

A: 教授が優しく教えてくださるので、専門的な内容でも楽しく学ぶことができます！大学と連携しているのでよりふみこんだ実験ができます。専門的に学びたい人におすすめです。

78期 6組 大戸 愛莉

ポスターセッションで使用したポスターは職員室前に掲示しています。ぜひご覧ください！